

# 資格検定NEWS



黒沢一樹さんが  
体験して得たもの  
(NPO理事長 35歳)

父親が何度も代わり、虐待されたこともありました。超のつく貧困家庭。高校には受かったもののお金がなくて辞退し、中卒で働き始めました。21歳で結婚、飲食店バイトといった仕事をかけ持ちで頑張る日々。転職も繰り返しました。

そのころから、自分に自信を持とうと様々な資格試験を受け始めました。受験勉強で知り合った友人と話すうち、若者の就業支援を思い立ち、約10年前にNPOを立ち上げました。キャリアコンサルタントや簿記といった資格が役立っています。

試験に挑戦すると世界が広がる。気付きの契機になり、人とのつながりができ、新たな人生が見えてくる。それは資格試験も入試も同じでしょう。

挑戦の意味が何年も後で分かることもある。落ちてもいい。試験は目標ではなく出発です。

<朝日新聞 東京本社版朝刊>  
2017年2月11日

